



中部電力

太陽光発電システムの特性評価

様々な太陽光発電の特性を評価し、発電量の推定に役立ちます

背景・目的

- 今後、地球温暖化対策の観点から、太陽光発電の大量導入が予想され、電力系統の設備形成や系統運用に大きな影響を与えることが懸念されています。電力系統への影響を把握するためには、時々刻々の天候の変化に対する各種の太陽光発電量を日射量等の観測データから推定する必要があります。



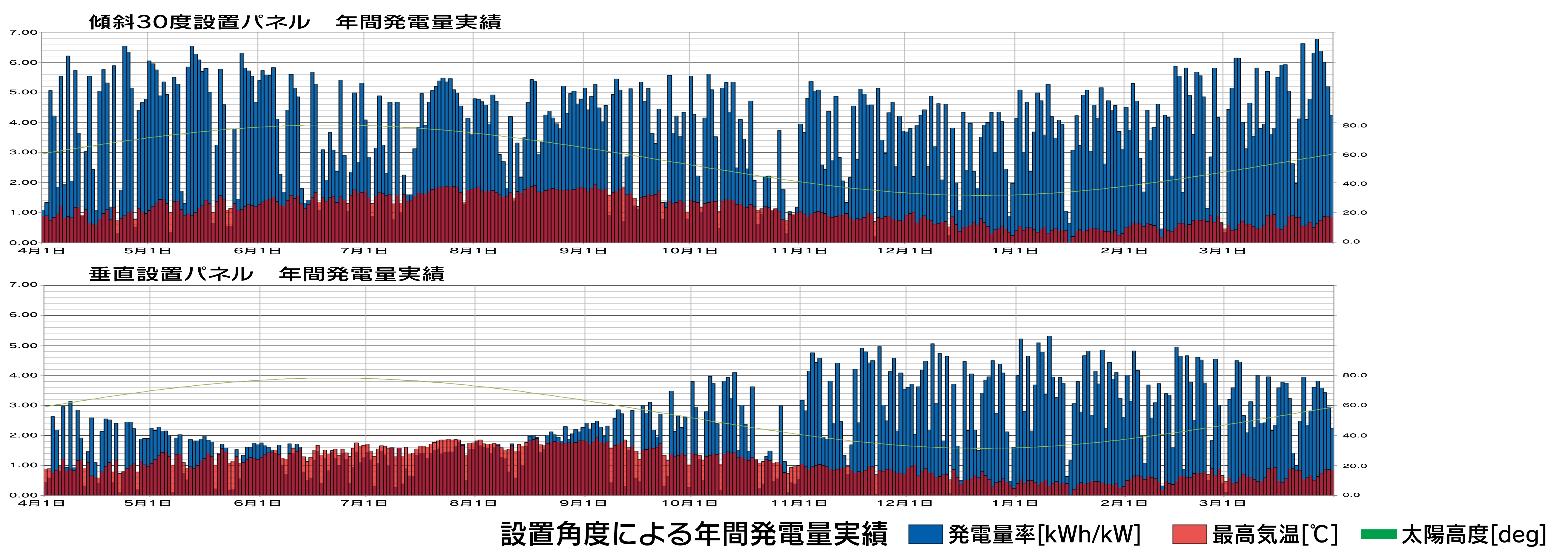
技術開発本部 西館 壁面

特長

- 技術開発本部西館に4種類の太陽光パネルを設置（屋上、壁面）
- 多結晶シリコン（屋上、5F）、HIT（4F）、CIS（3F）、薄膜シリコン（2F）
- 各パネルの発電量、裏面温度および日射量、外気温を1秒毎に収集

用途

- 日射量データから太陽光発電量の推定
- 太陽光パネルの違いによる発電効率、温度特性、劣化特性等の評価
- 傾斜面と垂直面に設置した太陽光パネルの特性評価



太陽光発電の発電量は千差万別、僅かな環境の違いでも発電量は異なります。

開発者の
ひとこと